

平成 28 年度 知多地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：平成 28 年 8 月 31 日（水）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで

場所：愛知県知多総合庁舎 3 階 大会議室

（「観光県一あいち」の実現と知多地域の連携）

- ・あいち観光戦略について、かなり大きな数値目標である。具体的にどのような形で進めていきたいのか、わかりやすく説明をいただきたい。
- ・日本版DMOについて、メリットやデメリットを整理して示す等、県には道しるべ的な役割を担っていただきたい。
- ・あいち観光戦略のMICE・スポーツ大会を通じた誘客推進について、知多半島では年 1 回アイアンマンレースが行われ、サイクリングコースが話題になっている。また、大規模展示場やボーイング 787 の展示施設が出来る。これらの活用について考えてほしい。
- ・中部運輸局昇龍道プロジェクトのベトナムミッション団に参加した際に、海外では 1 市町の PR をするより知多半島全体で PR していく必要があると感じた。
- ・げんきの郷は年間 200 万人を超える来場者がある。観光コースに活用されるとよい。知多半島全体で観光を展開することは必要である。また、いろいろな開発の許認可により景観を保全していくことの難しさを感じており、観光資源としての農業の景観保全について、行政の支援や配慮をお願いしたい。
- ・本町には宿泊施設が無く、観光の目玉となるものが無いが、駐車場とトイレが整備された新しい施設がある。この施設を活用して、知多半島全体の連携の中で町の観光を考えていきたい。
- ・多言語表示の観光案内板を作成したが、外国人だけでなく、国内の観光客にも非常に好評であった。
- ・多言語表示の案内板について、知多半島で共通のものを作ると良い。
- ・本市の外国人の宿泊者は県内で 10 番目に多い。そういった方が宿泊のみで次の観光地、大阪や東京へ行ってしまう。いかに市内を周遊していただくかが課題である。
- ・健康に特化した旅を、日帰り、1泊、2泊と3コース企画した。げんきの郷での食事、健康プラザでのヘルスチェック等巡っていただくもので、かなり好評である。
- ・パーキングエリアの拡張計画については、実現性を少し心配している。1町だけでは難しく、県のバックアップや、観光圏協議会、JAの協力が必要であると考えている。
- ・徳川家康が江戸幕府を開く前の知多半島での活躍物語を使うとよいと思うが、1町では無理である。協力して知多半島は一つで考えると良いストーリーが出来る。
- ・愛知県は行ってみたい県で40位以下の順位であるが、そこを乗り越えるための何かよい手だてはないか。
- ・武将観光をやる時に、武将隊の中心メンバーがすぐ代わるという事ではなく、固定して魅力を発揮することで、対外的な発信者となれるような工夫が出来るとよい。

（知多半島の交通機関の利便性向上について）

- ・知多半島は二次交通が非常に弱い。海外ではウーバーという遊休のマイカーを使ったタクシーが

多い。規制緩和が進めば、二次交通の目玉になっていくと思うので、その戦略について県に取り組んでもらいたい。

- ・この地域は二次交通のアクセスが非常に悪い。タクシーを使うには近く、歩くには遠い。
- ・関東、関西では鉄道バス乗り放題は3DAYが主流になっているが、中部地区はまだ2DAYしかない。インバウンドのお客様は2DAYでは利用し難い。高速バスはようやく3DAYが出来た。インバウンド対策として3DAYフリー切符の許可について運輸局へ要望していただきたい。
- ・成田空港で実施している、ガイドと共に空港から公共交通機関で観光地を周るツアーを参考にしたいが、この地域では観光地への足がないのがネックである。上手く公共交通機関を活用できない。
- ・セントレアから本町へ来ていただけるように、どういう形でアクセス出来るのが課題である。
- ・各市町でそれぞれ巡回バスを運営しているが、知多半島の市町で共同で出来たらよいと思う。

(観光施設費等補助金の活用について)

- ・観光施設の老朽化、駐車場不足が課題である。施設等の建て替えや改修には、県の助力をお願いしたい。
- ・トイレの洋式化が全く進んでいない。観光庁の宿泊施設インバウンド対応支援事業で補助を受け、旅館のトイレを改装することにした。
- ・小野浦エリアのトイレはほぼ和式だと思う。女性のお客様等から苦情が出る。そういった点も海水浴客が減っている原因と考えられる。
- ・一般家庭の自宅のトイレはほぼ洋式だと思うが、本町の公共施設のトイレは和式ばかりである。そういった面の対策を強化していかないと、インバウンドどころか、国内の観光客が来ない。
- ・観光施設費等補助金について、使いやすくしていただきたい。ハード事業だけでなく、ソフト事業もメニューの中にはあるが、広域事業に限定されている。市町単独で出来るような形にしたいと有難い。
- ・要綱には、消費税は補助対象外という組み立てとなっているが、対象としてほしい。
- ・交付決定が夏頃であり、春からの事業には使いにくい。
- ・県に対しては、使いやすい補助を求める。

(産業観光の推進について)

- ・知多半島としては、武将観光にはなじみが薄いため、醸造文化等の産業観光も同レベルで取り組んでほしい。
- ・地方創生加速化交付金を国から受けて、醸造文化を核とする観光ルートの再発掘を進めている。
- ・全国的にブランド化してきたやきもの散歩道に関する観光資源をどのように今以上に広めていくかが課題である。